

専門研究B

肢体不自由のある児童生徒に対する 言語活動を中心とした表現する力を 育む指導に関する研究 —教科学習の充実をめざして—

(平成22年度～23年度)

研究成果報告書

平成24年3月



独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所

はじめに

肢体不自由のある児童生徒が「生きる力」を育むためには、各教科等の指導においても障害による経験の不足や障害特性から生じる学びにくさを踏まえた配慮や工夫が必要です。今回の学習指導要領改訂において、言語活動の充実による思考力・判断力・表現力の育成が大切であり、肢体不自由のある児童生徒においては、表現する力の育成が重要であることが示されました。一方、特別支援学校の設置・整備計画が進む中で複数の障害種に対応する学校が増え、肢体不自由のある幼児児童生徒の学ぶ場が広がっています。さらに、特別支援学級（肢体不自由）に在籍する児童生徒は、増加し続けております。こうした状況の中で、特別支援学校及び特別支援学級における肢体不自由のある児童生徒の障害特性を踏まえた専門的な指導の継承と共に、学習指導要領に改訂に示された表現する力の育成を図るための検討が重要であると考え、本研究課題を立てました。

本研究では対象を特別支援学校（肢体不自由）及び特別支援学級（肢体不自由）に在籍する児童生徒としました。また、言語活動を中心とした表現する力の育成を図るという観点から、教科指導については、小・中学校の当該学年及び下学年（下学部や一部知的障害の教科も含む）の教科等を中心に扱いました。

本報告書は、7つの章により構成されております。Ⅱ章では、肢体不自由のある児童生徒の教科指導における「表現する力」の育成に関する基本的な考え方を示しました。Ⅲ章では、先行研究の分析、特別支援学校（肢体不自由）の教員への調査及び特別支援学級（肢体不自由）の担任への質問紙調査の分析から、肢体不自由のある児童生徒の教科指導に関する現状と課題を明らかにしました。そして、Ⅳ章、Ⅴ章では、先行研究、研究協議や学校視察により得た知見を総合的に考究し、言語活動の基礎となる国語科を中心に配慮や工夫の在り方について示しました。さらに、Ⅵ章では、具体的な配慮や工夫を生かした実践事例を紹介しました。

本研究成果報告書をご活用いただき、実践にかかわる様々な情報やご意見をいただければ幸いです。

備考：Ⅲ章で示しました「全国小・中学校肢体不自由特別支援学級の指導に関する調査」にかかる結果の全ての事項は、本研究のWebサイトに掲載しております。

<http://www.nise.go.jp/cms/7,5437,32,142.html>

平成24年3月

研究代表者 企画部総括研究員 長沼 俊夫

目次

はじめに

I 研究の概要

1. 研究の背景と目的 1
2. 研究の方法 1
3. 研究活動（経過の概要） 2

II 肢体不自由のある児童生徒の教科指導における「表現する力」の育成に関する基本的な考え方

1. 国の施策としての言語活動の充実に向けての取組 4
2. 学習評価の観点からみた「表現する力」 5
3. 肢体不自由のある児童生徒にとって「表現する力」の育成の意義と課題 6

III 肢体不自由のある児童生徒への教科指導に関する現状と課題

1. 肢体不自由のある児童生徒への教科指導に関する先行研究の検討 9
2. 特別支援学校(肢体不自由)における教科指導における現状と課題に関する予備的検討 21
3. 特別支援学級(肢体不自由)における教科指導における現状と課題 . . 30
—「全国小・中学校肢体不自由特別支援学級の指導に関する調査」より—

IV 肢体不自由の障害特性が及ぼす学習の困難さを軽減する手段・方法の工夫

1. 肢体不自由の障害特性が「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習に及ぼす影響と指導の配慮や工夫 44
2. 肢体不自由の障害特性が及ぼす学習の困難さを軽減する手段・方法の例 54

V 肢体不自由のある児童生徒の教科指導における配慮や工夫—国語科を中心に—

1. 国語科の指導において予想される困難とそれに対応した配慮や工夫及び指導内容精選等を行う手立ての検討 —「目標及び内容の系統表」の活用を通じて— 62
2. 言語活動を重視した指導における配慮や工夫 69

VI 実践事例の紹介 72

事例1：児童生徒の実態に合わせて、補助用具や補助的手段を組み合わせた

活用による指導<宇佐小学校> 74

事例2：学習活動全般においてイメージする力、表現する力

を育み学ぶ力を育てるために〈青峰学園〉	79
事例3：異なる学年の小集団に対して教科指導の工夫〈桜が丘特別支援学校〉	86
事例4：本人の特性及び学習環境に配慮した、表現する力を育む指導 一 国語科の指導を中心に一〈静岡中央特別支援学校〉	95
事例5：小学校1年生の入門期指導として、「語彙を豊かにする」ことに重点 を置いた指導〈袖ヶ浦特別支援学校〉	106

Ⅶ 総合考察

1. 肢体不自由のある児童生徒の教科指導における現状と課題	114
2. 表現する力を育成するために有効な教科指導における障害特性に応じた 配慮や工夫	115
3. 今後の課題	116

資料

* 特殊教育学会発表ポスター（特別支援学級(肢体不自由)の指導に関する調査の概要)

研究体制

おわりに